

仙台湾南部海岸 海岸保全施設整備事業



仙台湾南部海岸(山元海岸)



国土交通省 東北地方整備局
仙台海川国道事務所

直轄海岸保全施設整備事業

1. 事業経緯

昭和40年から宮城県により中浜海岸、笠野海岸などの各地区において海岸侵食防止対策を施工してきましたが、海岸侵食域の拡大に加え海岸侵食速度が速く被害を受けている地区について緊急且つ重点的に対策事業を実施する必要性が生じたため、平成12年8月に海岸侵食の著しい岩沼市岩沼海岸（蒲崎工区）、山元町山元海岸を国土交通省直轄工事区間として海岸保全施設整備を進めています。



2. 過去の被害状況

海岸侵食の進行により海岸堤防が破壊されるなどの被害が生じています。



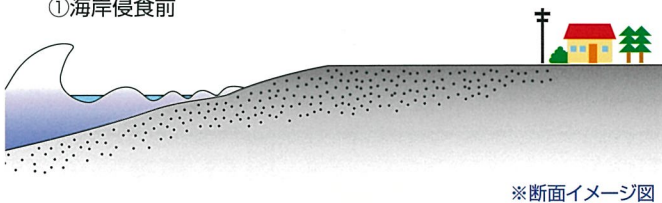
▲海岸侵食により堤防が被災（蒲崎海岸）



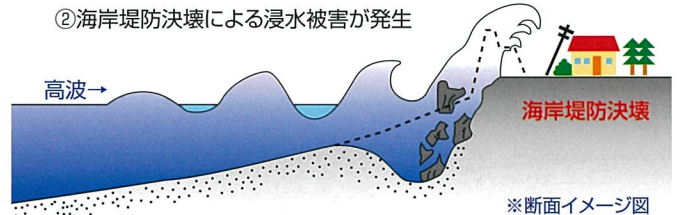
▲海岸侵食により堤防が被災（中浜海岸）

● 海岸侵食被害メカニズム

①海岸侵食前



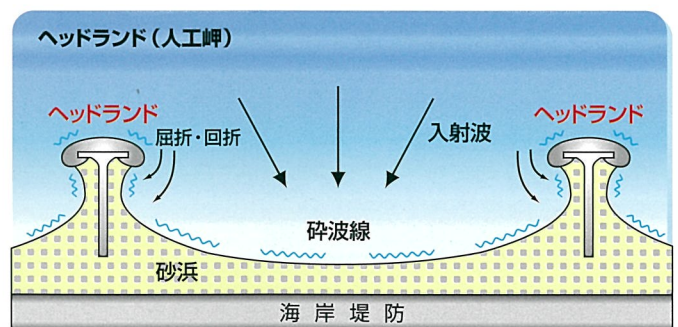
②海岸堤防決壊による浸水被害が発生



3. 海岸保全施設の整備

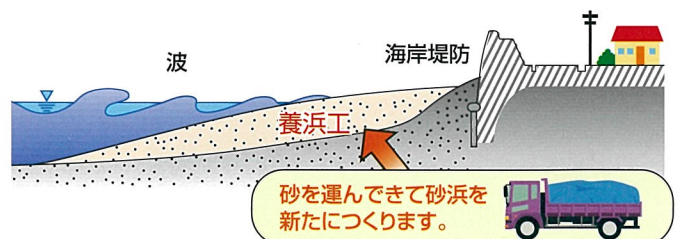
● ヘッドランド

ヘッドランドに入った波は、浜辺に沿って遅い流れになり、流れている砂がヘッドランドの間に貯まり、砂浜の再生が期待されます。



● 養浜工

砂浜が消えた海岸に、人工的に砂を運んできて砂浜を回復させ、波の力を弱めて堤防やその後方を守ります。ヘッドランドと組み合わせることにより、さらに快適でうるおいのある海岸を目指します。



東日本大震災からの復旧



1. 東日本大震災の発生

仙台湾南部海岸は平成23年3月の東日本太平洋沖地震及びそれに伴う津波により、海岸堤防などの海岸保全施設が壊滅的な被害を受けました。



▲海岸堤防の被災状況（山元海岸）



▲海岸堤防の被災状況（岩沼海岸）

2. 堤防復旧事業

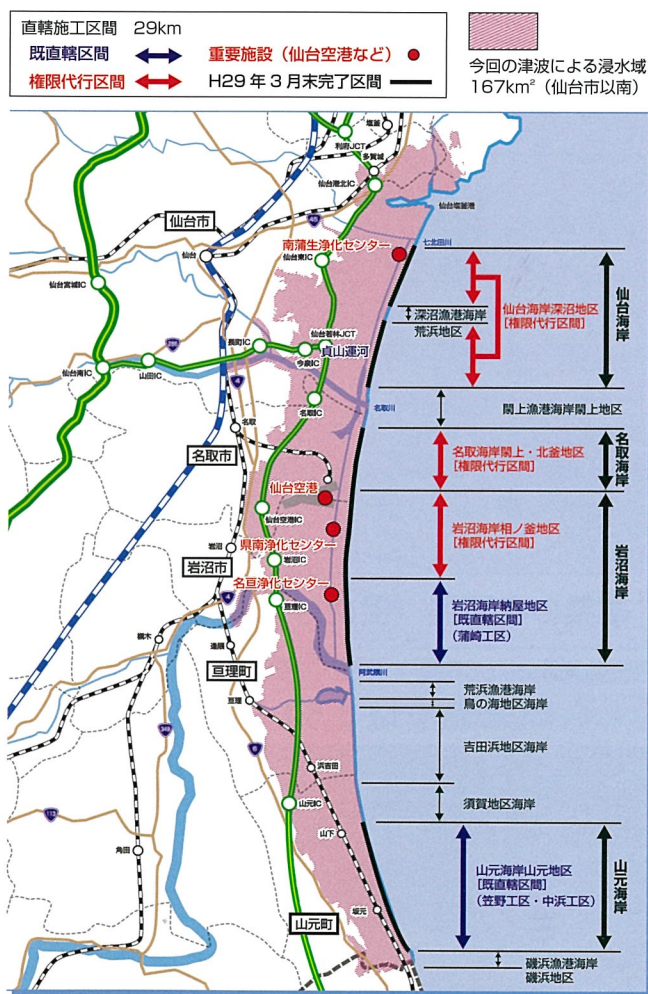
平成12年から海岸侵食対策として事業を進めていた直轄区間及び東日本大震災を契機とする権限代行区間の延長29kmの海岸堤防の復旧工事を行い、平成28年度に全区間が完成しました。



▲堤防復旧工事の様子（山元海岸）

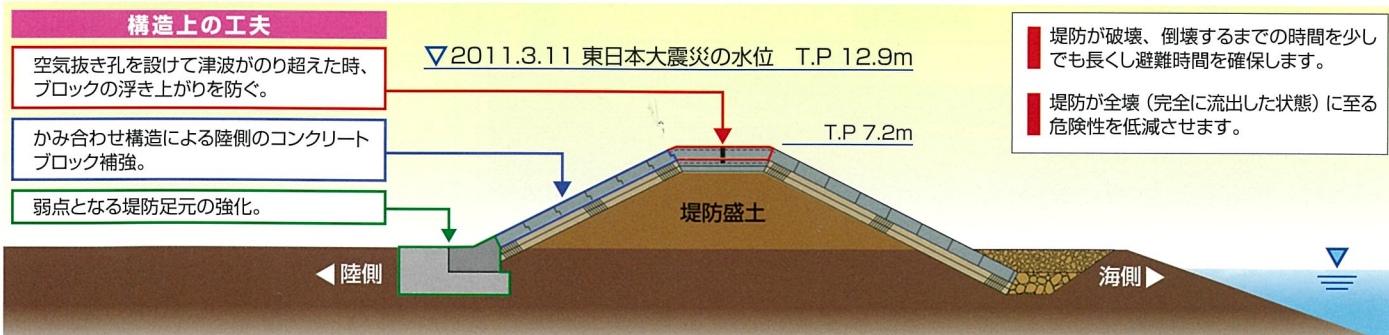


▲完成した海岸堤防



3. 粘り強い構造の海岸堤防

堤防の構造は、津波が堤防をのり越えても粘り強く効果を発揮するよう工夫をしています。





● 植樹作業の様子



● 仙台湾南部海岸の動植物



▲ ウミネコ



▲ ハマエンドウ



▲ ハマヒルガオの群落

海岸の安全な利用のために



ヘッドランドや波消しブロックは海岸の侵食を防ぐためのもので、泳いだり釣りをする場所ではありません。非常にキケンなため立ち入らないでください。

たかなみ
高波

急な高波にさらわれるキケンがあります。

りがんりゅう
離岸流

ヘッドランド周辺は沖に向かう強い流れ（離岸流）が生じやすくキケンです。

てんらく かつらく
転落・滑落

波消しブロックはすべりやすくキケンです。



国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所

〒982-8566 宮城県仙台市太白区あすと長町 4 丁目 1 番 60 号

HP: <http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/J74101/>